始まるよぉ！
第13回 九月は日奈久で山頭火

とき 8月31日㈮午前10時
ところ 日奈久ゆめ倉庫
内容 日奈久子どもひょっとこ踊り、子ども六郎太鼓、保育園児の演奏や踊りなどで幕開け。くまモンも登場。朗読や水道管尺八演奏、日奈久小中学生による発表もあります。

おりや句会

とき 9月9日㈰
午後1時30分～3時30分
ところ 織屋2階
内容 午後1時までに句を作り織屋に提出
（参加費無料）
講師 星永文夫　米村恒憲

日奈久街並み再発見

とき 9月16日㈰　午前10時～12時
集合場所 憩いの広場（柳屋旅館前）
内容 案内人と明治～昭和の趣が残る日奈久温泉街の「お宿めぐり」
参加費 200円
（冷たいラムネ、日奈久竹箸付き）

山頭火ウォーク

とき 9月23日㈰
午前8時30分受付　午前9時出発
ところ 球磨川河川敷運動公園集合
コース 河川敷→水島→日奈久温泉神社（約13㎞）
参加費 1000円（小中学生500円）
山頭火弁当、温泉入湯券、記念品、お楽しみ抽選券付き
送迎バス有り
憩いの広場横　午前8時発
ゴール後　午後3時30分発

第13回 九月は日奈久で山頭火

昭和5年の9月に放浪の俳人「種田山頭火」は日奈久を訪れ、「温泉はよい、ほんたうによい、ここは山もよし海もよし、出来ることなら滞在したいのだが、いや一生動きたくないのだが」と日記（行乞記）に記しています。山頭火が宿泊した木賃宿「織屋」を中心に、約1カ月間日奈久は山頭火一色に染まります。

問合せ　日奈久温泉観光案内所　☎38-0267

山頭火シンポジウム

とき 9月21日㈮
ところ 「金波楼」大広間

午後1時～
朗読劇 「鴉啼（からすな）いてわたしも一人」
出演：中村敦夫
佐々木梅次（劇団民芸）
午後3時～
討論 司会：前山光則
パネラー：中村敦夫、井上晴美、永光里衣
午後6時30分～
交流会（場所：日奈久ゆめ倉庫）
シンポジウム参加費 2000円
交流会参加費 5000円
（両方参加で6000円）

その他イベント

期間：8月31日㈮～9月30日㈰

◆**織屋一般公開** 午前9時～午後6時
山頭火が泊まった宿で現存する日本唯一の建物「織屋」の無料公開

◆**小﨑侃「山頭火の世界」木版画展**
ところ 金波楼ぎゃらりぃ
☎38-0611
山頭火のポスター、Tシャツなどでお馴染みの版画家の作品を即売

◆**絵手紙作品展示**
日奈久ゆめ倉庫で「ありがとう」の絵手紙を展示

◆**日奈久まちなかギャラリー**
街のあちこちに、山頭火の句を書いた丸木の句板を掲示

編集と発行　〒866-8601 八代市役所企画戦略部広報広聴課☎33-4111
印刷　㈲堀川印刷